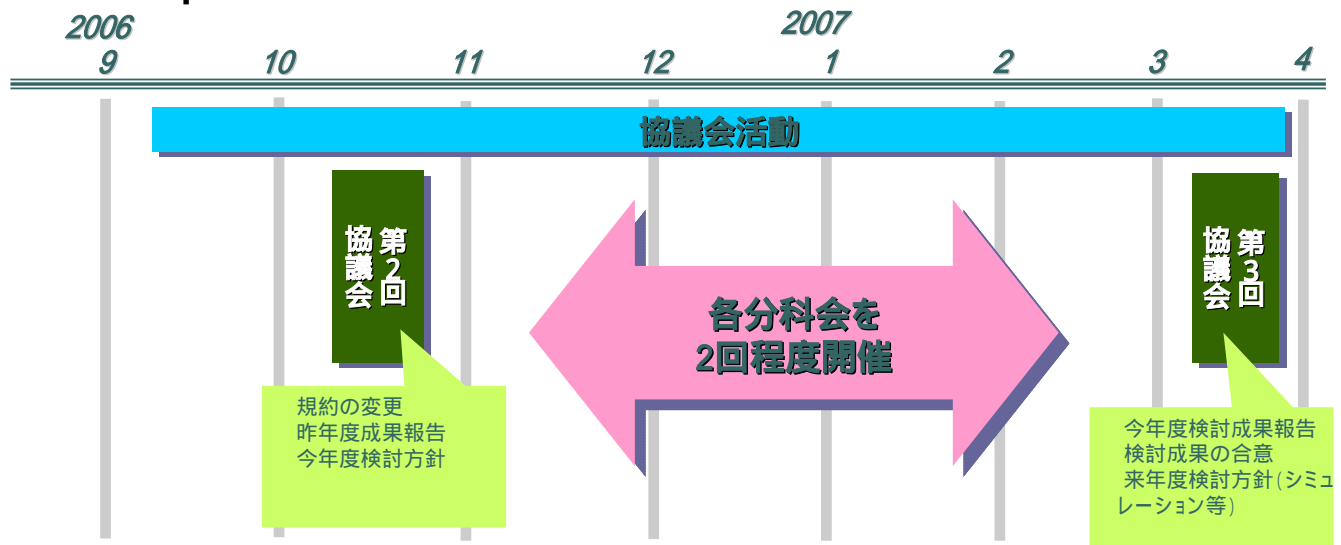


# 首都圏建設副産物小口巡回共同回収システム構築協議会 今後の協議会・各分科会の進め方



1. 今後のスケジュール(案)
2. システム運営・制度検討分科会(A分科会)の進め方(案)
3. 情報化検討分科会(B分科会)の進め方(案)
4. 分別排出手法検討分科会(C分科会)の進め方(案)

## ● ● ● | 1. 今後のスケジュール(案)



今年度は、「小口回収システムの具体的制度(案)」、「現場での分別基準(案)」について検討を行ない、関係各者の役割を示し第3回協議会で合意を得る。

来年度は、シミュレーション等により具体的制度(案)の有効性等についてチェックし、フィードバックを行なうことにより「小口回収システムの具体的制度(案)」のブラッシュアップを図る。

「現場での分別基準」については引続き検討を行い協議会成果目標のひとつとしたい。

## ● ● ● | 2 . システム運営・制度検討分科会 (A分科会)の進め方(案)

### (1) 今年度検討方針(案)

昨年度のC分科会検討成果を踏まえ、各工事現場から小口で排出される建設廃棄物を効率的に回収するための、小口回収方法について検討を行なう。

### (2) 今年度検討項目(案)

#### 今年度の検討対象となる主な工事種類の設定(新築、解体)

#### 小口回収方法の比較検討

- 1) 小口回収方法を提案(ルート、回収形態など)  
従来通りの方法、巡回回収等、一般廃棄物、動脈物流での事例等も参考とする。
- 2) 各案におけるメリット・デメリット、法制度上の課題、コスト等について比較検討
- 3) 回収拠点に求められる機能を整理(必要性についても検討)

#### 回収拠点の整備・運営方針

- 1) 運営主体、施設規模、形態、関係法令上の整理など

2

## ● ● ● | 3 . 情報化検討分科会 (B分科会)の進め方(案)

### (1) 今年度検討方針(案)

A分科会C分科会での検討成果を踏まえ、建設廃棄物の小口回収システムを効率的に運営管理するために必要な、情報処理機能、機器、システム構築手法等について検討を行なう。

### (2) 今年度検討項目(案)

#### 求められる情報・機能の整理

- 1) 小口回収を行なうにあたり必要となる情報の整理  
既存システム活用方法、建設分野以外による廃棄物追跡システム事例収集 等
- 2) 回収拠点に求められる情報の整理

#### 情報システムの比較検討

- 1) 有効な情報処理機能の提案
- 2) 電子マニフェスト等既存システムとの連動に関して検討
- 3) 各案におけるメリット・デメリット、コスト等について比較検討

#### 情報システムの整備・運営

- 1) 整備スケジュール、コストなど

3



## 4 . 分別排出手法検討分科会 (C分科会)の進め方(案)

### (1)今年度検討方針(案)

昨年度の検討成果を踏まえ、建設廃棄物の「建設工事現場における分別基準(案)」の作成を行なう。

### (2)今年度検討項目(案)

#### 建設現場における分別基準(素案)[第5回C分科会提出]の作成

- 1)分別品目毎のメリット・デメリット、混合廃棄物の組成、リサイクル率、コスト、現場での保管形態等の整理
- 2)現場での分別品目の絞り込み、優先順位付け

#### 建設現場における分別基準(案)[第6回C分科会提出]の作成

- 1)具体的な品目の整理等、現場担当者の分かり易さを考慮
- 2)「建設現場における分別基準(案)」策定による効果等の試算(概算)